

文部科学大臣指定研究開発指定(平成26~29年度)



上越教育大学附属小学校



研究開発課題

社会の様々な課題に対して、主体的に関わり、他者と共によりよい解決を求めていく力を育むために、生活科や総合的な学習の時間との関連を図った「創造活動」と、各教科を実践的に学ぶ「実践教科活動」を創設した際の教育課程に関する研究開発を行う。

教育課程

～創設した4つの教育活動～

創造活動



実践教科活動



「感性」

実践道徳



集団活動



教育課程 ～当校が捉える「感性」～

「感性」



人間としてよりよく生きる行為を生み出す過程で
一貫してはたらいっている資質・能力

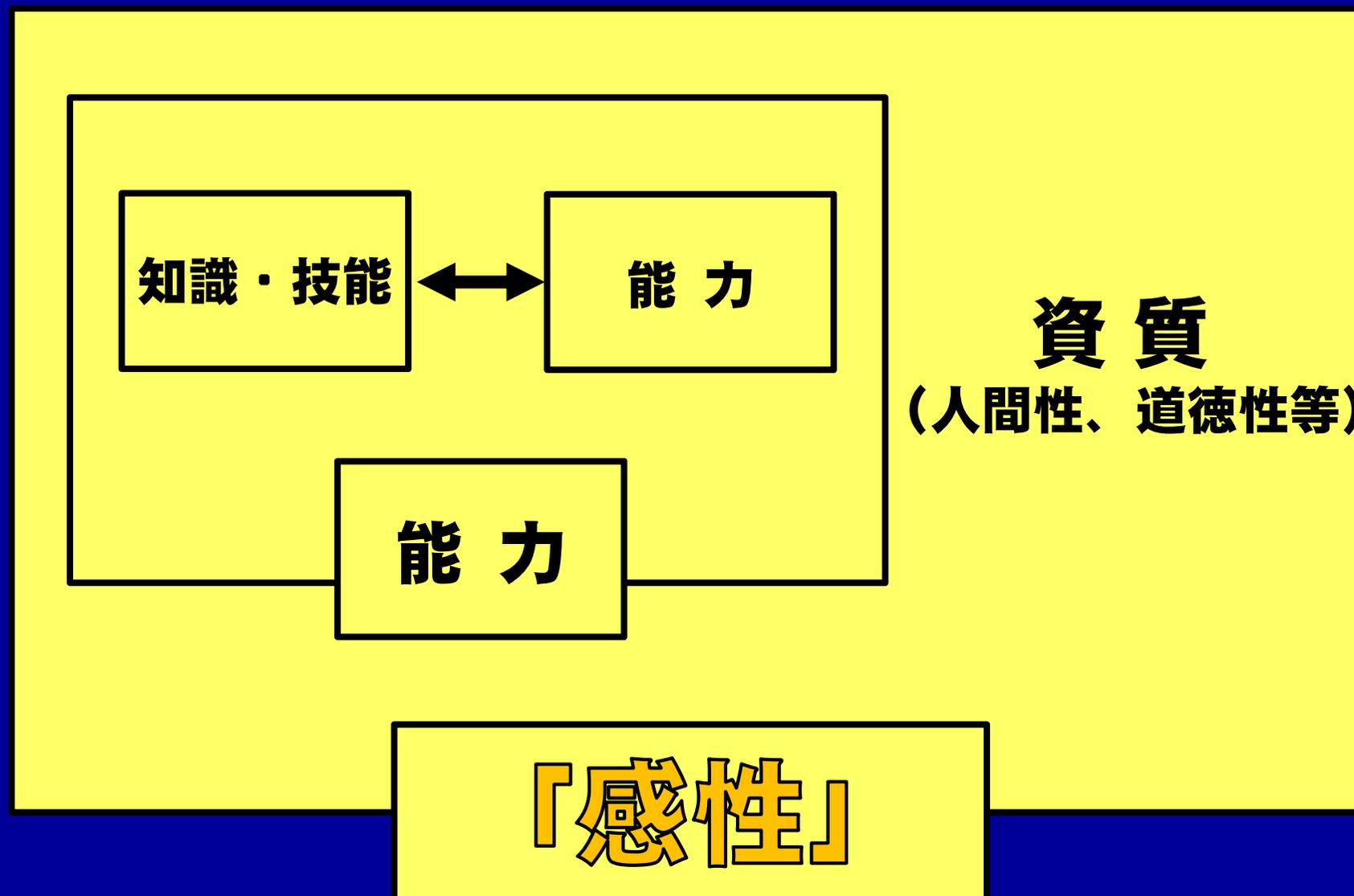
教育課程 ～当校が捉える「感性」～

「感性」

知性と相補的にはたらきながら、
よりよい「自分」をつくる

教育課程

～当校が捉える「感性」～



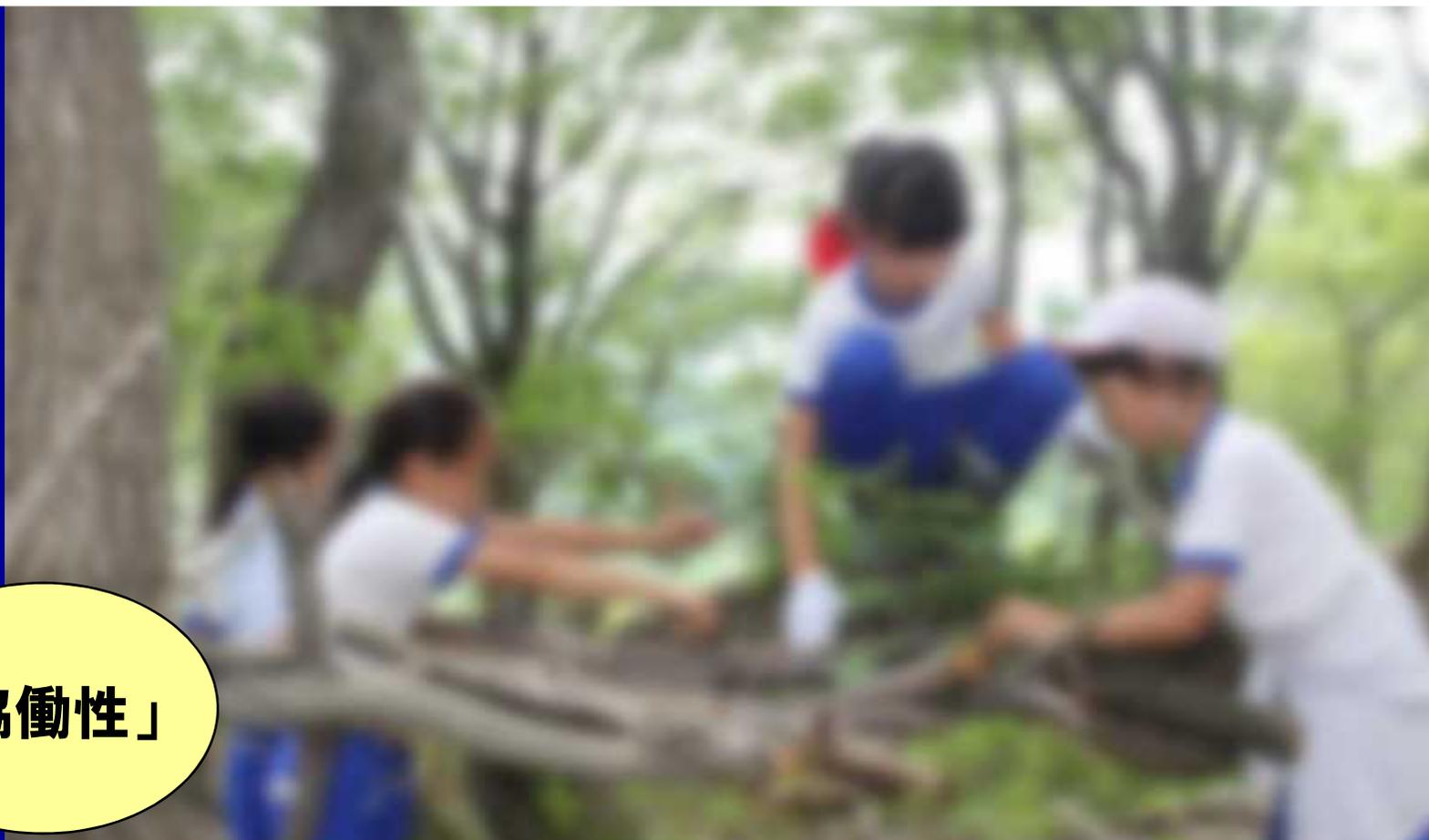
教育課程 ～「感性」の3つのはたらき～



「主体性」

「材」の事実に分れ、ありのままをとらえながら、
自分の意志で行動・判断する

教育課程 ～「感性」の3つのはたらき～



「協働性」

同じ「材」とかかわる他者と相互作用しながら、
共によりよさを追求する

教育課程 ～「感性」の3つのはたらき～



「創造性」

**「材」の本質をとらえながら、
新たな意味や価値をつくり出す**

教育課程 ～連関する「感性」の3つのはたらき～



教育課程

～「感性」の3つのはたらきを目標に位置付ける～

【目標】

～したり（「主体性」）、～したり（「協働性」）、
～したり（「創造性」）する。

教育課程 ～4つの教育活動の目標～

創造活動の目標

体験からわき起こる思いや願いを基に、自ら「材」にはたらきかけたり(「主体性」、仲間と共に学級の目的や自分の役割を創出したり(「協働性」、自然・人・文化の認識をひろげたり(「創造性」)する。

教育課程 ～4つの教育活動の目標～

実践教科活動の目標

自分の道筋と歩調で教科の本質にふれる対象とかかわったり(「主体性」、仲間と共によりよく問題を解決したり(「協働性」、新たな知識や技能を自らの中に構成したり(「創造性」)する。

教育課程 ～4つの教育活動の目標～

実践道徳の目標

創造活動等の実践を基に、「材」や「材」と自分とのかかわりを見つめたり（「主体性」）、無自覚的な規範や価値を顕在化して集団の良識をつくったり（「協働性」）、規範や価値の根底や常識を疑いながら新たな道徳的な価値観をつくったり（「創造性」）する。

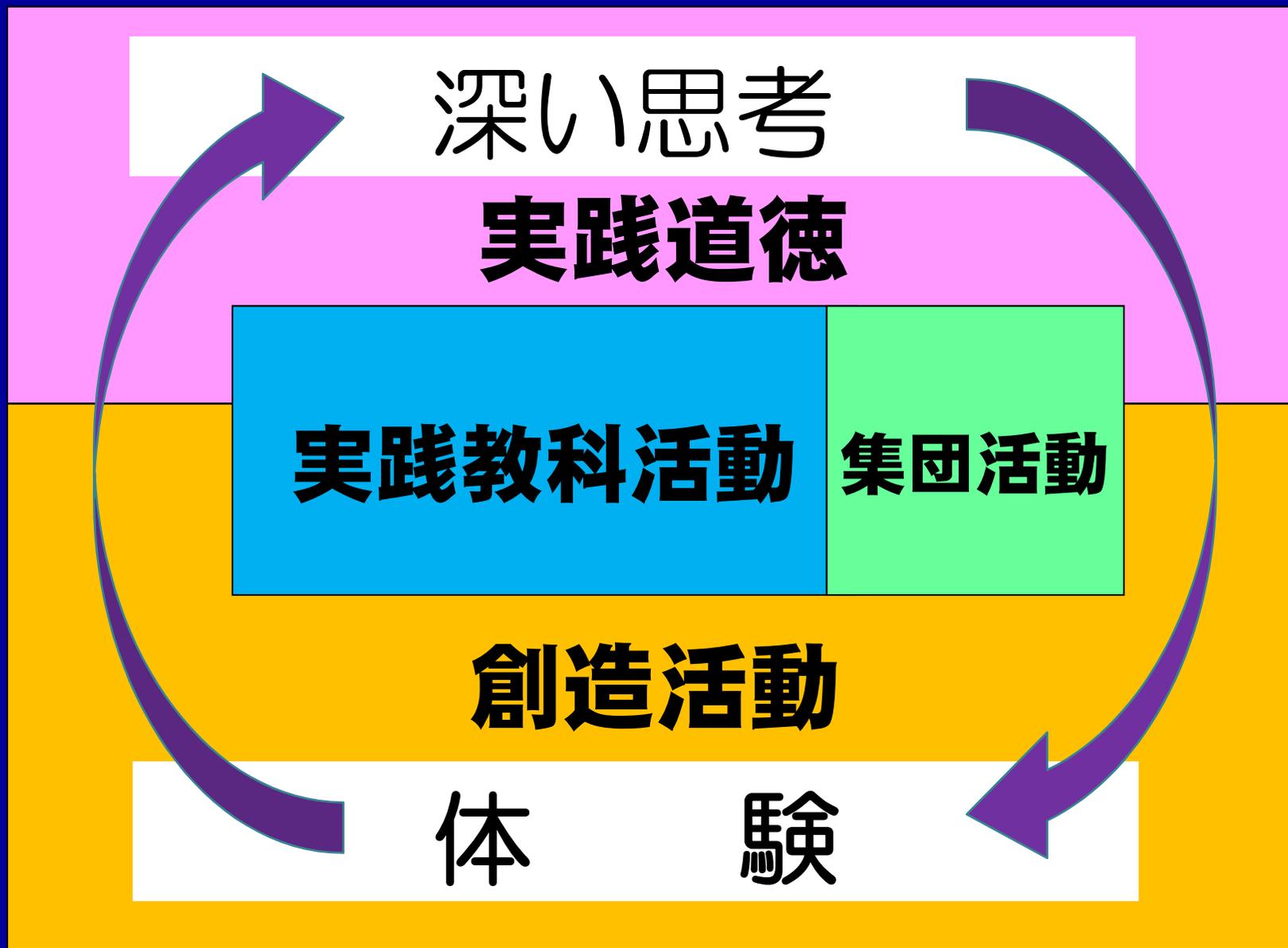
教育課程 ～4つの教育活動の目標～

集団活動の目標

様々な集団における他者とのかかわりを通して、集団や場を感じて自分をひらいたり(「主体性」、集団をよりよくつくり変えたり(「協働性」、他者との関係の中に生きる新たな自分を見いだしたり(「創造性」)する。

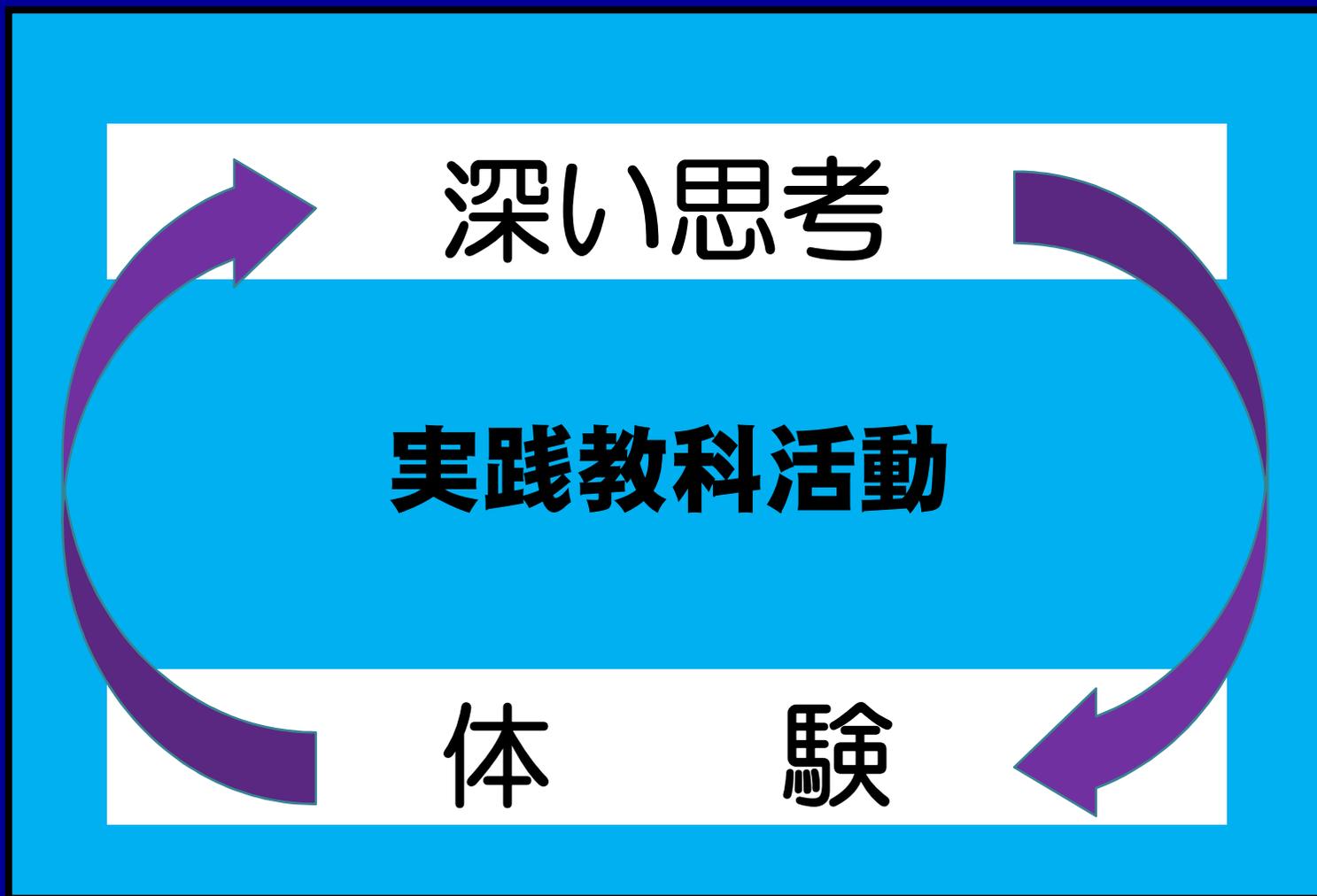
教育課程

～創造活動と実践道徳～



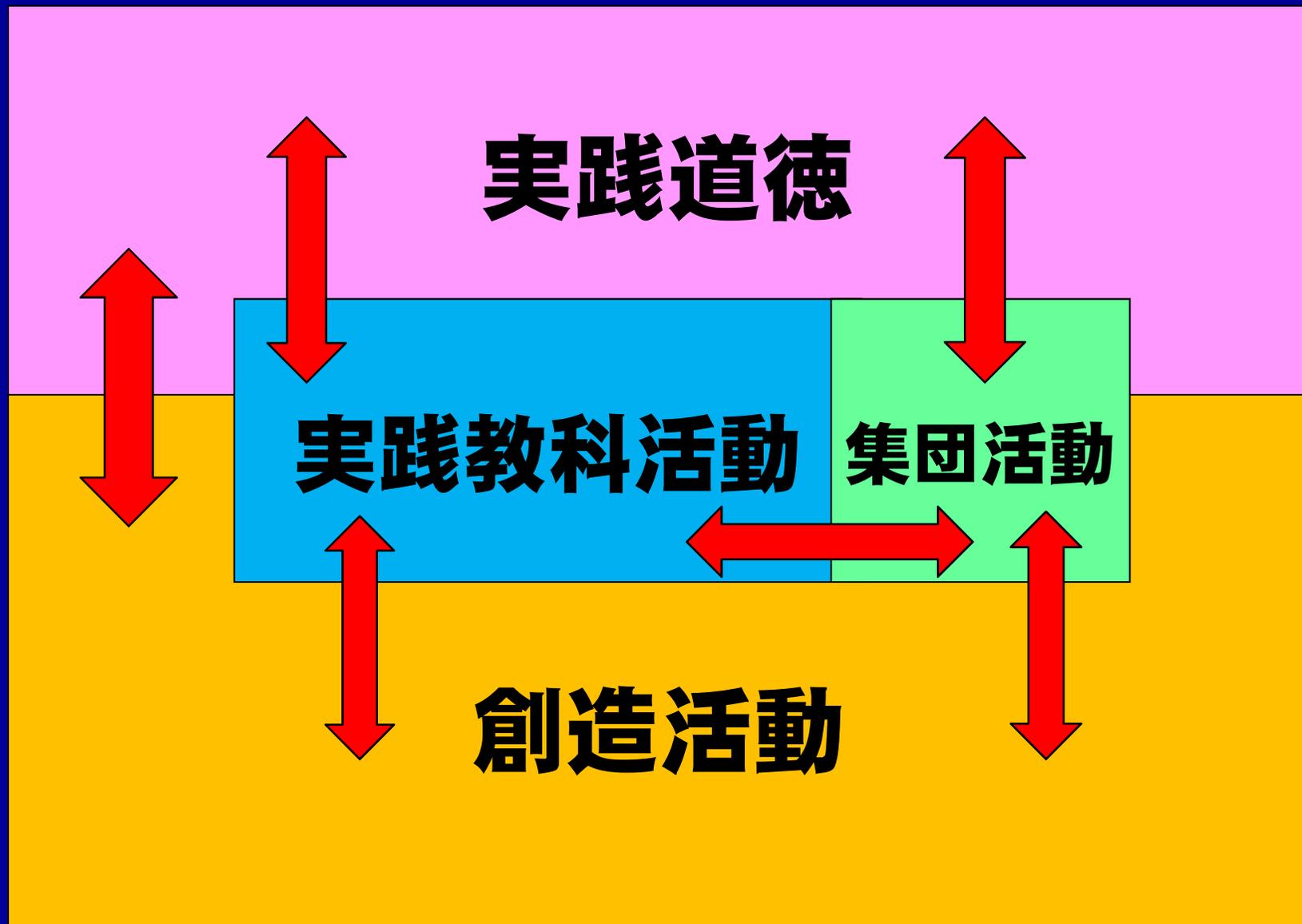
教育課程

～実践教科活動～



教育課程

～4つの教育活動の関連～



教育課程の実際 ～実践事例①～

創造活動を基にした実践道徳

第2学年

- ・ 創造活動
「ぐんぐん大農園」
- ・ 実践道徳
「倒壊した『ぐんぐん大農園ハウス』のこれから」

2年2組 創造活動「ぐんぐん大農園」 (寺島教諭)



2年2組 創造活動「ぐんぐん大農園」(寺島教諭)



2年2組 創造活動「ぐんぐん大農園」 (寺島教諭)

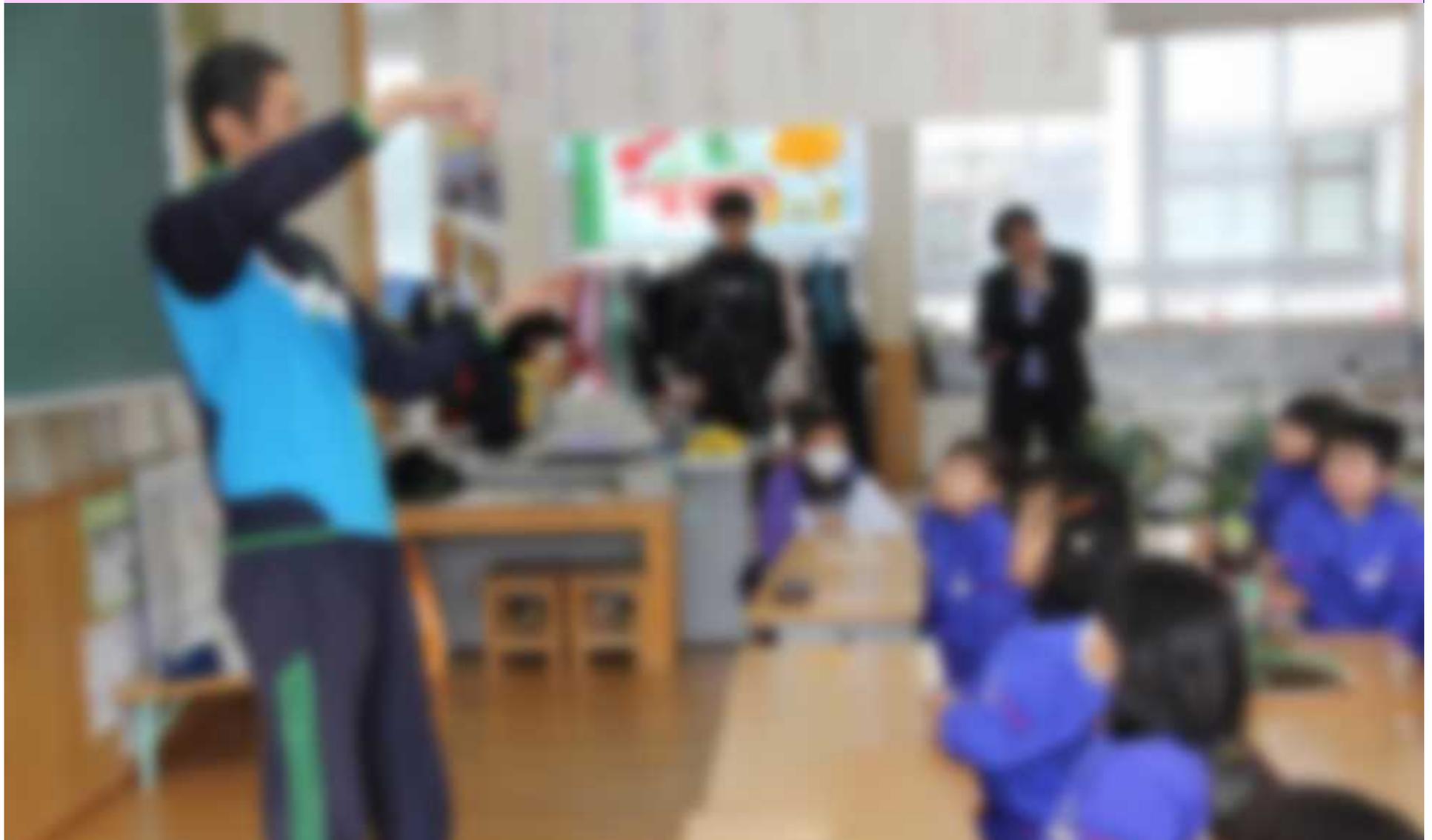




実践道徳

「倒壊した『ぐんぐん大農園ハウス』のこれから」

(寺島教諭)



実践道徳

「倒壊した『ぐんぐん大農園ハウス』のこれから」

(寺島教諭)



「ハウスの野菜はハウスとずっと一緒に
いさせてあげたい」

実践道徳

「倒壊した『ぐんぐん大農園ハウス』のこれから」

(寺島教諭)

ハウスの野菜はハウスのことをどう思っているか

野菜を収穫して食べる

野菜はハウスと一緒に
土に還す

2つの異なる価値観の顕在化

実践道徳

「倒壊した『ぐんぐん大農園ハウス』のこれから」

(寺島教諭)

「野菜を食べないのなら、
ハウスは何のために
頑張ってきたのか」

「ハウスにとっても
野菜をおいしく
食べてあげることが
よいことだ」

自分と異なる価値観にふれる

実践道徳

「倒壊した『ぐんぐん大農園ハウス』のこれから」

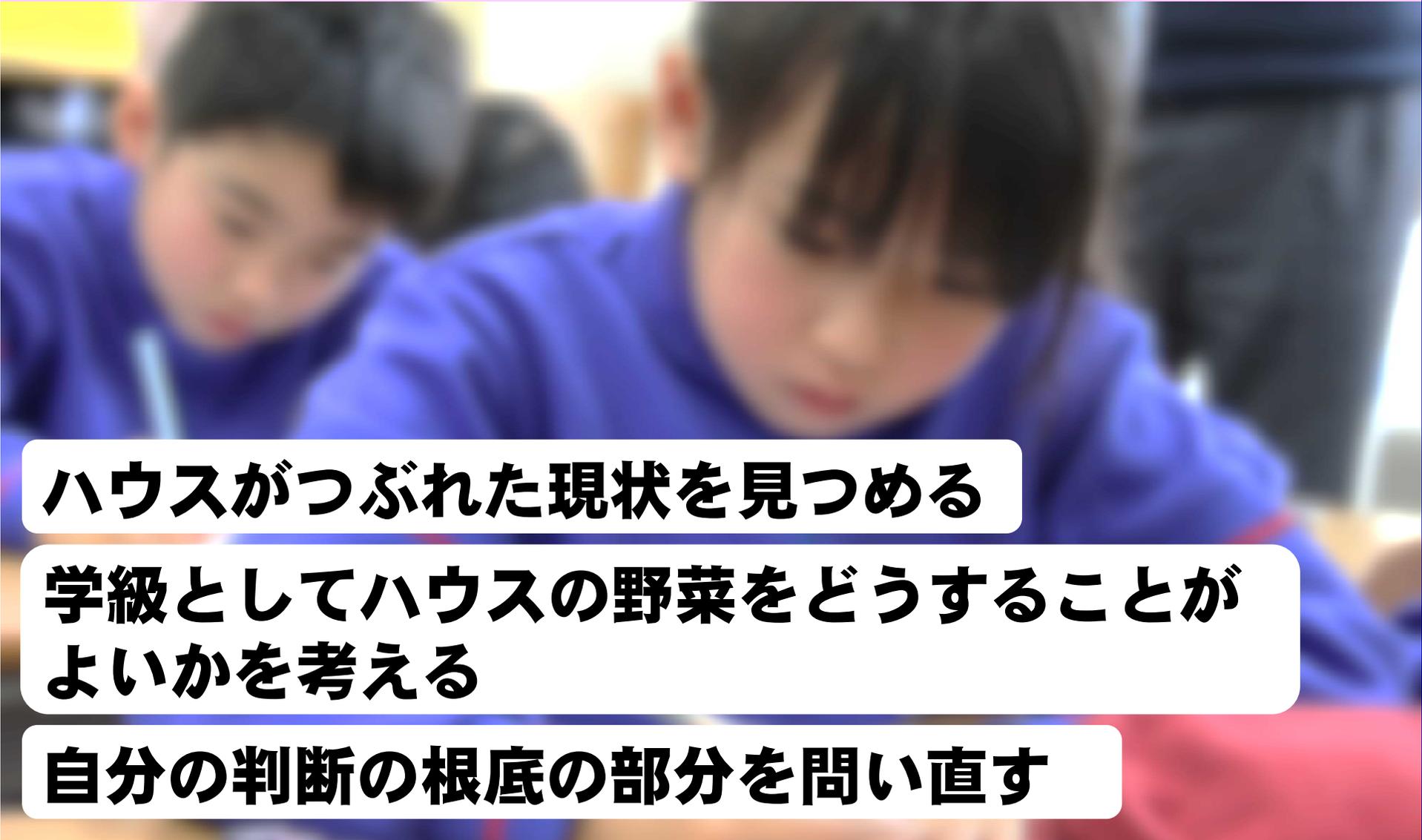
(寺島教諭)



実践道徳

「倒壊した『ぐんぐん大農園ハウス』のこれから」

(寺島教諭)



ハウスがつぶれた現状を見つめる

学級としてハウスの野菜をどうすることがよいかを考える

自分の判断の根底の部分問い直す

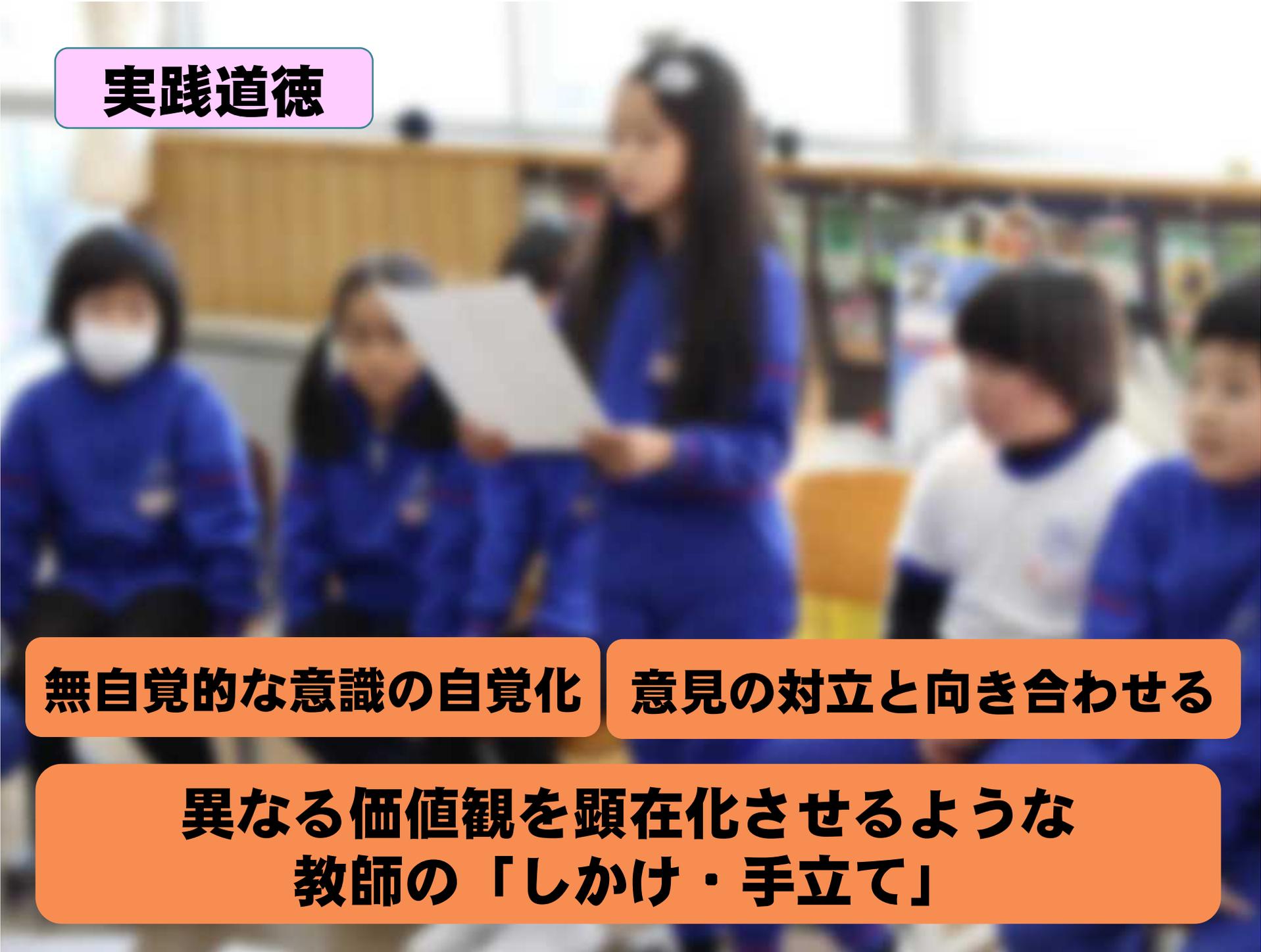
「材」や自分と「材」とのかかわりを見つめたり、

無自覚的な規範や価値を顕在化して集団の良識をつくったり、

規範や価値の根底や常識を疑いながら新たな道徳的な価値観をつくったりする。

「感性」の3つのはたらきが連関する具体的な子ども姿

実践道徳



無自覚的な意識の自覚化

意見の対立と向き合わせる

異なる価値観を顕在化させるような
教師の「しかけ・手立て」

A group of children in school uniforms (white shirts, blue shorts, and red caps) are working in a field. In the background, there is a large, clear plastic greenhouse. The children are scattered across the field, some standing and some kneeling, engaged in agricultural activities. The scene is outdoors with green trees in the distance.

実践道徳の構想・展開

充実した体験を基にした問い

教育課程の実際 ～実践事例②～

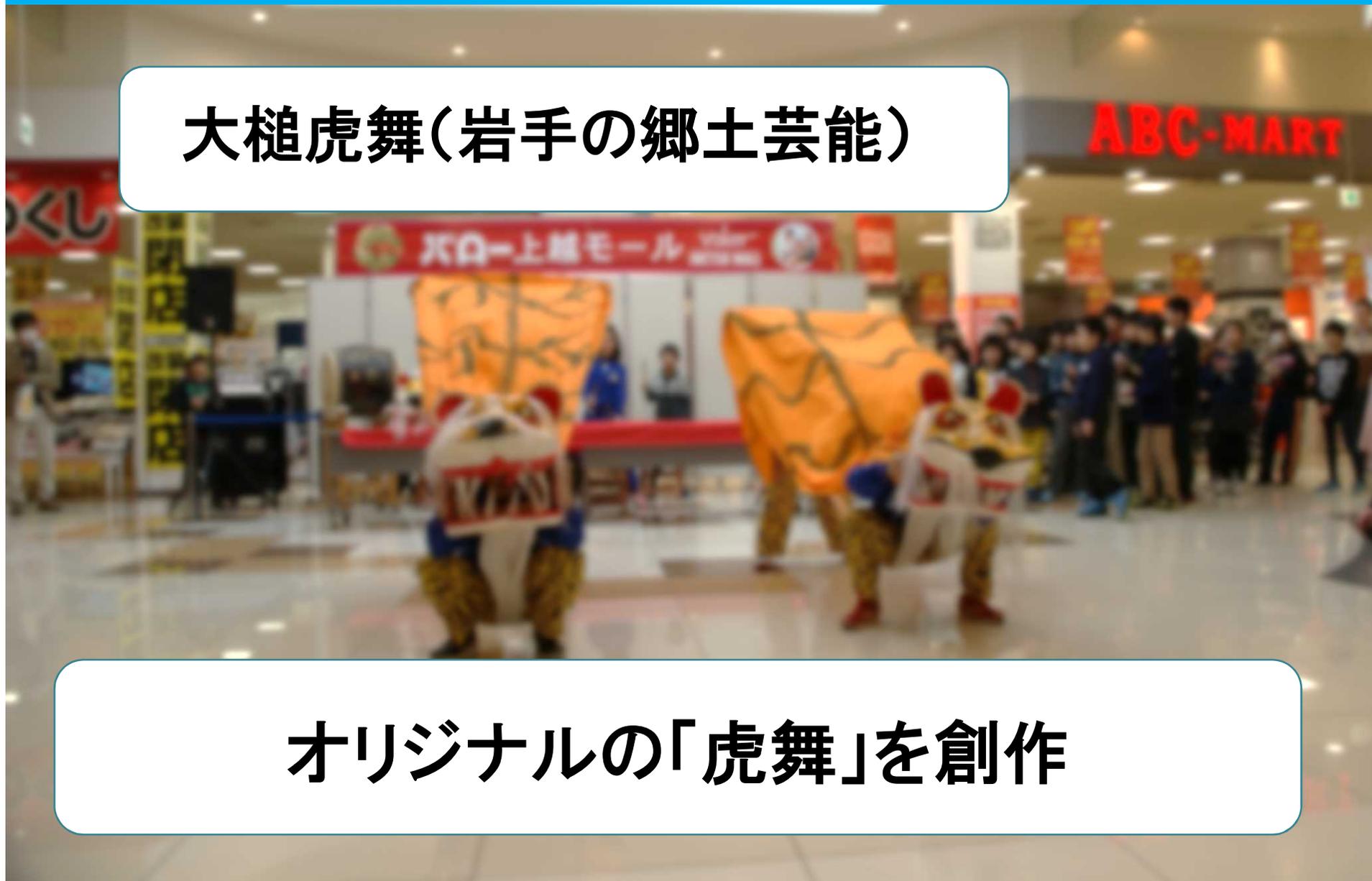
実践教科活動

- 実践音楽科 第5学年「神獣舞楽」

5年 実践音楽科 「神獣舞楽」 (湯澤教諭)

大槌虎舞(岩手の郷土芸能)

オリジナルの「虎舞」を創作



5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)



5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)

お囃子や舞に夢中になって取り組んだり
(「主体性のはたらき」、

仲間と共に演じる楽しさを味わったり
(「協働性のはたらき」、

お囃子の構造と舞の関係を考えながら
即興的に表現をひろげたり
(「創造性のはたらき」)する

5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)

演技の
動画視聴

演目の
指定

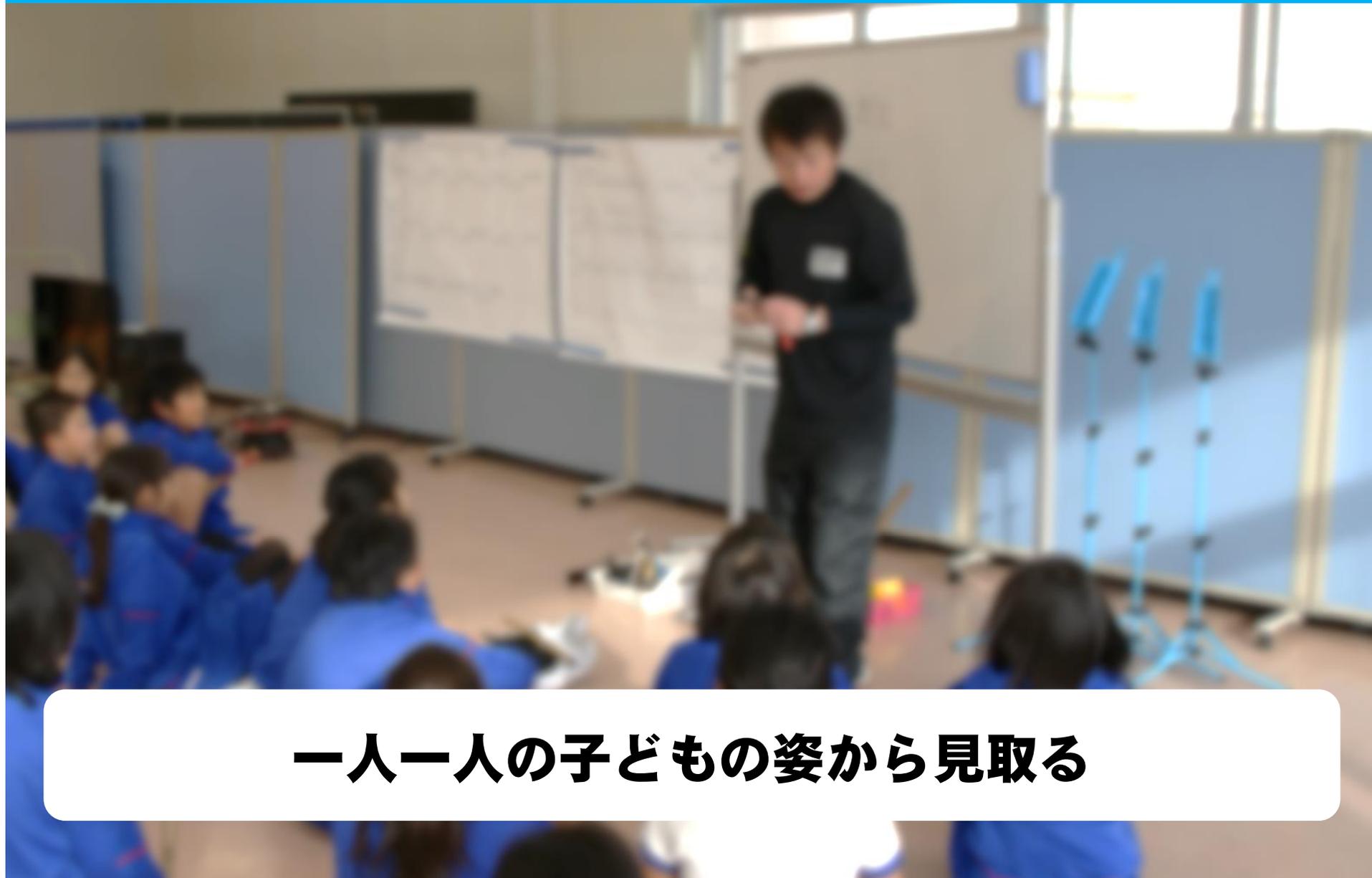
口唱歌の
視覚化

動きの提示

披露の場の
設定

教師の「しかけ・手立て」

5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)



一人一人の子どもの姿から見取る

5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)

虎舞 ストーリー

① 4匹の虎が遊んでいる。

② 2匹の虎が話をくわえてならんで歩いてくる。

③ 4匹の虎も急いで世でさばやつめをといて、その話をくわえて、2匹の虎に続いて歩く。

④ しばらくするとハク様(白虎)が現れる。

⑤ ハク様が話でさばやつめをとりて話をくわえる。

⑥ ハク様も先頭になり、もう一人もくわえて歩く。

⑦ ハク様は、上品で、とても強くて神様のまんなさい? (虎のイメージ)

⑧ 4匹の虎ははげしく頭をふ。た、力が良い。

⑨ 白虎は四神の一つ(広野苑より)

自分で考えた「虎舞」のストーリー

5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)



5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)



5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)

ゆうさんの妹が来ていたので、
驚かすのをやめようと思ったけど、
やっぱり驚かせたくなって思い切り
驚かせました。次の公演では、
もっとたくさんの人に驚いてほしいです。

(千晶さんの作文シートより)

5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)



5年 実践音楽科 「神獣舞楽」 (湯澤教諭)



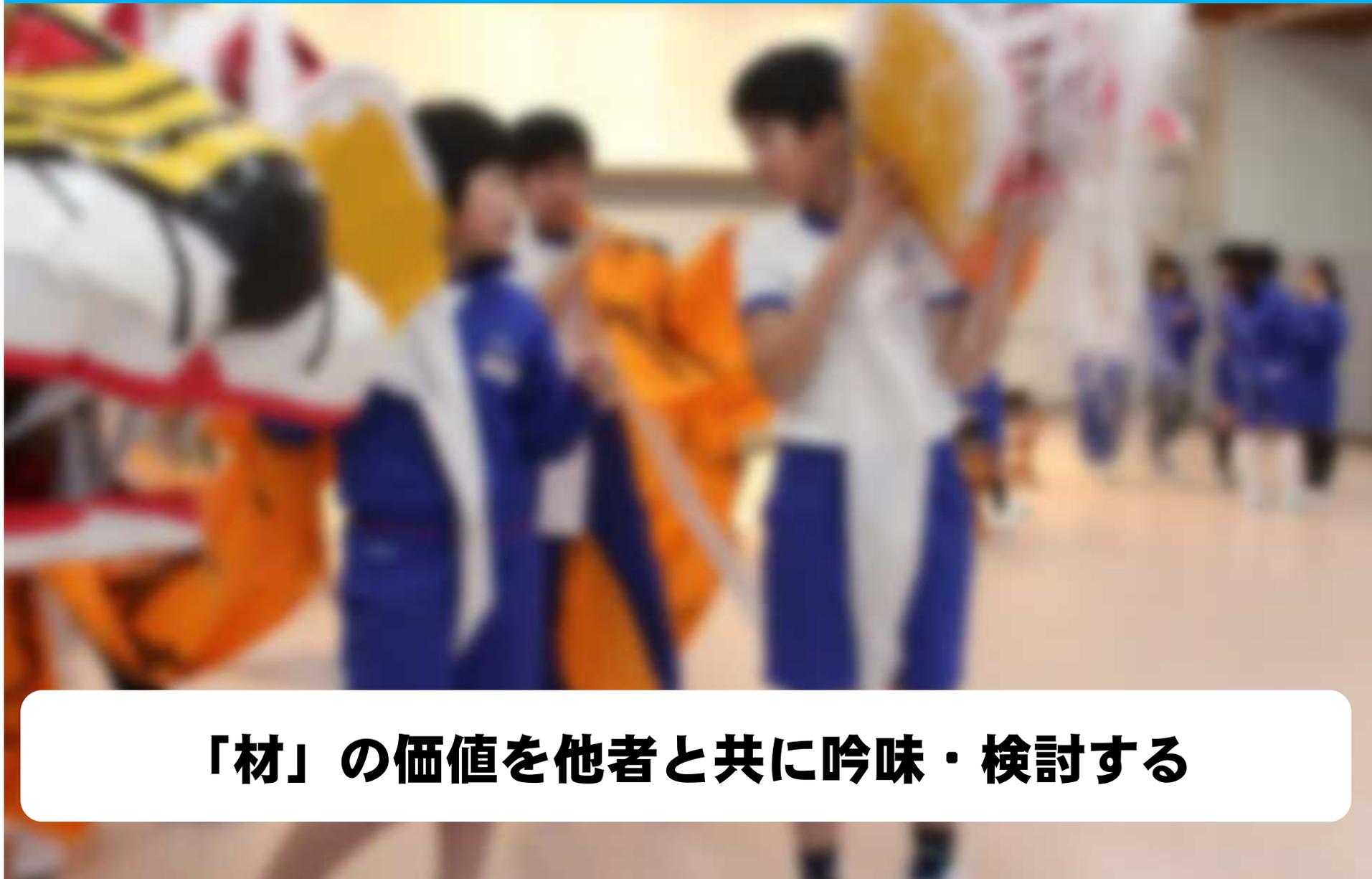
「感性」の3つのはたらきの連関

5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)



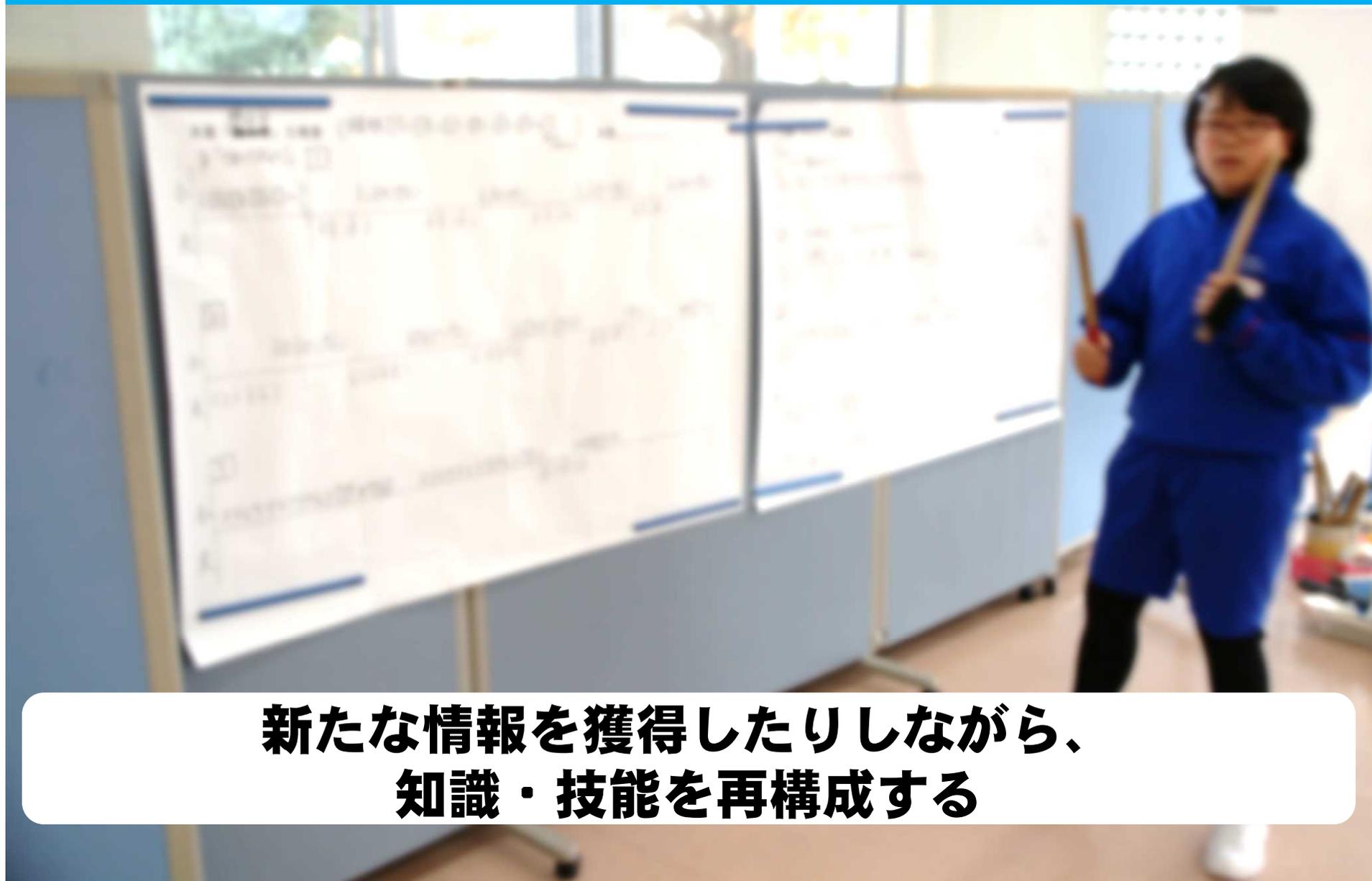
自分なりに「材」の価値をとらえる

5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)



「材」の価値を他者と共に吟味・検討する

5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)



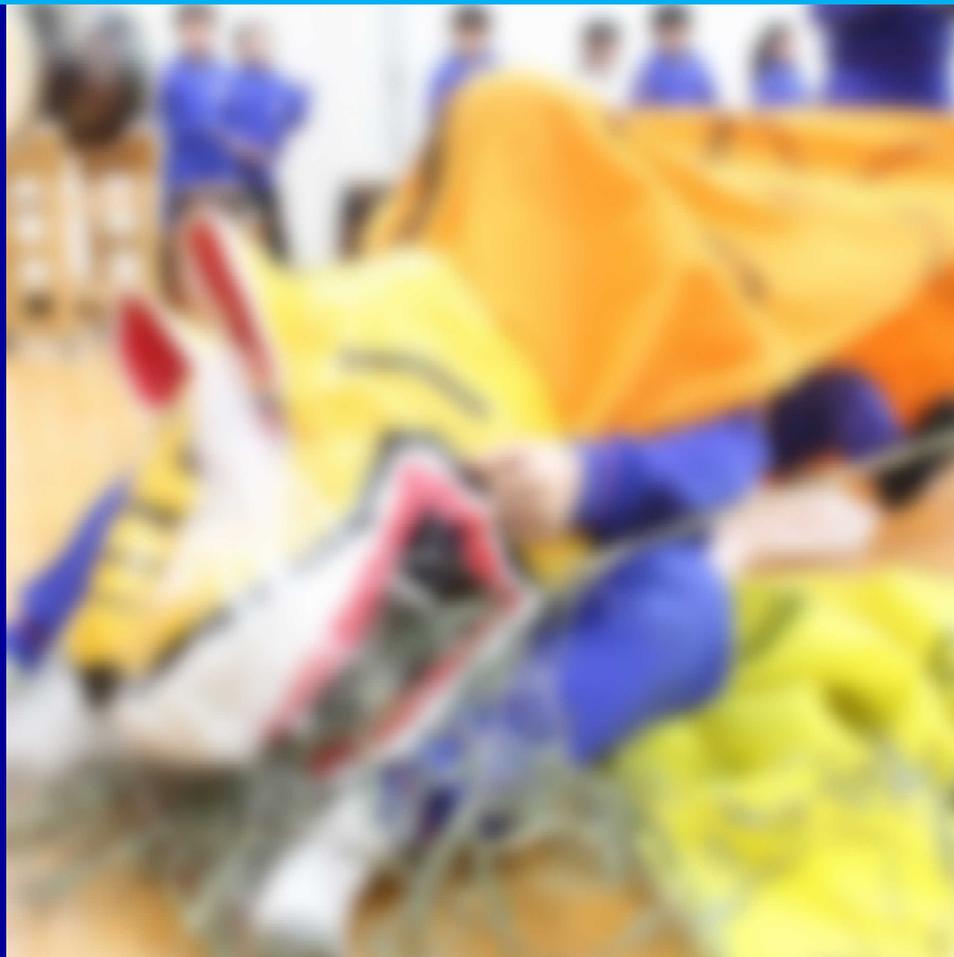
**新たな情報を獲得したりしながら、
知識・技能を再構成する**

5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)



**新たな世界の見方をひろげ、
未知の「材」にはたらきかける**

5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)



「主体性」「協働性」「創造性」の連関を視点にとらえて、ねらいを設定する

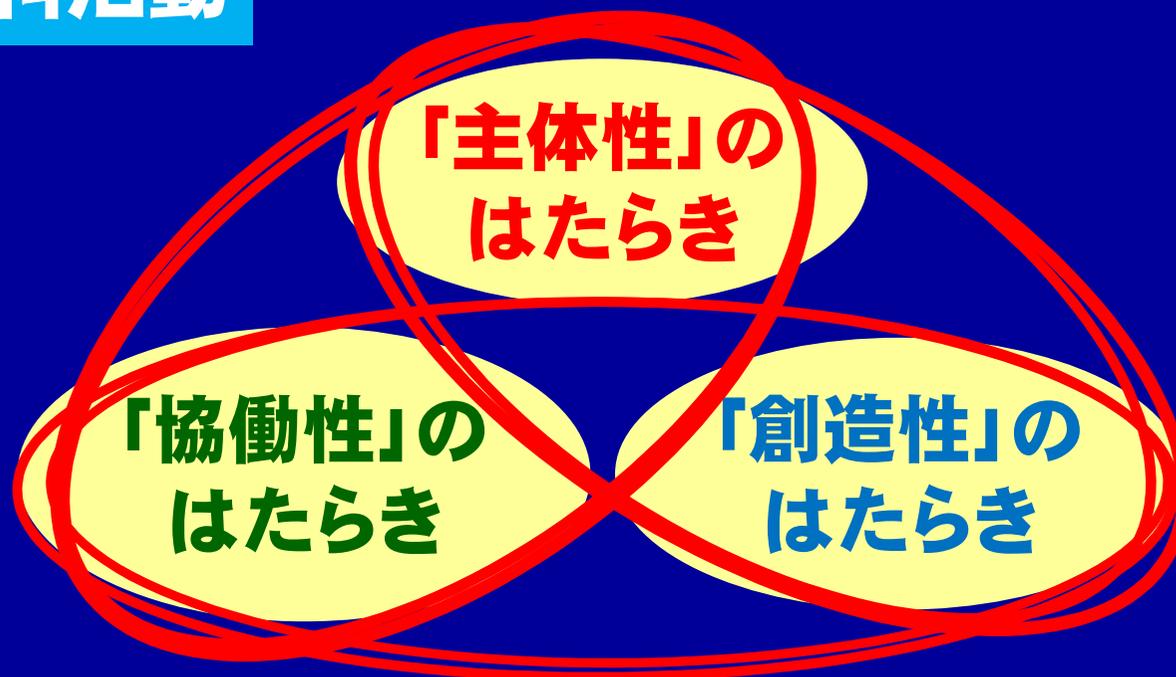
5年 実践音楽科「神獣舞楽」 (湯澤教諭)

教師の「しかけ・手立て」

音楽科の本質

「虎舞」の本質

実践教科活動

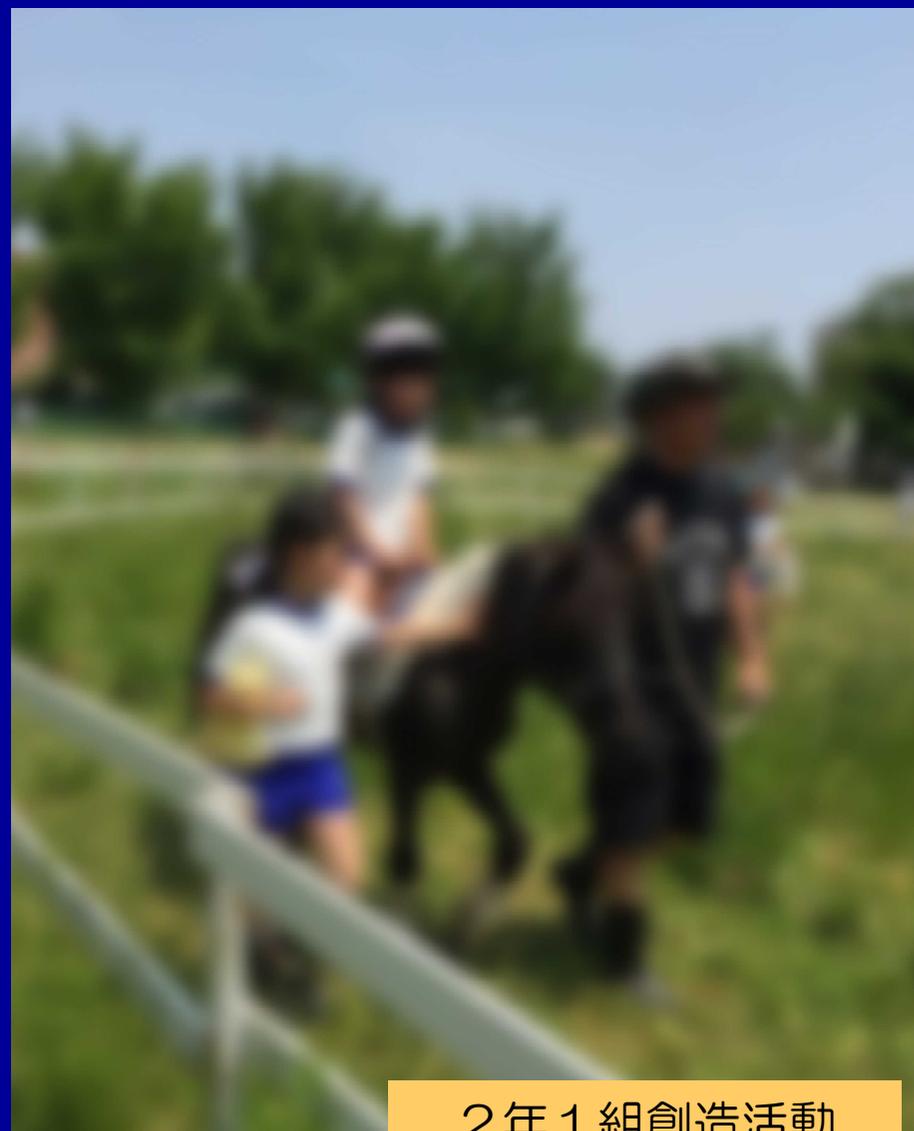


「感性」の3つのはたらきの連関を視点

教科の本質と「材」の本質を融合させるような
教師の「しかけ・手立て」

実施による効果

- ①子どもの学校評価アンケート結果
- ②保護者の学校評価アンケート結果
- ③教師への効果
- ④学校訪問者の声



2年1組創造活動
「パワフルまきば」

①児童への学校評価の結果

(上:平成29年7月 下:平成28年7月)

質 問 項 目		はっきり ハイ	だいたい ハイ	肯定率
1	学校での活動が楽しい	77	17	94
		80	16	96
2	活動で「もっと知りたい」「もっとよくしたい」と思う。	41	39	80
		43	35	78
3	活動で行ったことは、自分の生活に役立つ。	51	30	81
		49	31	80
4	自分の考えを生かしながら活動をする。	48	32	80
		47	34	81
5	自分の思っていることをまわりの人に分かりやすく伝える。	30	35	65
		30	38	68
6	学校の友だちとたくさん活動したり、遊んだりする。	83	12	95
		83	10	93
7	友だちにやさしい気持ちで接する。	60	26	86
		55	29	84
8	学級の活動で「やってみたい」「もっとこうしたい」「もっとこうなりたい」と思うことがある。	59	27	86
		61	23	84
9	学級の友だちと話し合うことで、自分の考えを見直したり、新しい考えをもったりする。	53	27	80
		61	23	84
10	前学年と比べて、考えることが楽しいと思うようになったり、できなかったことができるようになったりしている。	71	20	91
		66	17	86

②保護者への学校評価の結果

(上:平成29年7月 下:平成28年7月)

質 問 項 目		はっきり ハイ	だいたい ハイ	肯定率
1	お子さんは、学校での活動を楽しみにしていますか。	80	18	98
		78	20	98
2	お子さんは、学校で活動したことを家庭の様々な場面で生かしている時がありますか。	35	47	82
		36	44	80
3	お子さんは、自分の考えや思いを相手に分かりやすく伝えていきますか。	25	47	72
		26	46	72
4	お子さんは、相手の気持ちや考えを大切にして行動をしていますか。	31	54	85
		26	46	72
5	お子さんは、学習材や学習内容と主体的にかかわり、学ぶ楽しさ感じていますか。	35	44	79
		36	46	82
6	お子さんは、自分の変化や成長を自覚していると感じますか。	34	40	74
		31	45	76

②保護者への学校評価アンケートのコメント

(平成29年7月)

(1年生保護者)

- ・小学校に入学するまでは動物や自然に対して消極的だったが、今では毎日、外での活動を楽しんでいるようです。いろいろな事に興味をもち、親としてもうれしく思います。

(2年生保護者)

- ・自分なりに学校で頑張りたいことを見いだすことができている、それがエネルギーの源になっていたように感じます。

(3年生保護者)

- ・創造活動を通して、自然からの学び、その他の歴史なども学び、良い経験をさせて頂いていると思う。

(4年生保護者)

- ・価値ある学びをさせていただきありがとうございます。自分の子どもだけでなく、どの子どもたちも目を輝かせて活動しているのを見ると幸せになります。何よりも自主性が伸びる教育で生きる力になっています。

(5年生保護者)

- ・毎朝早くから準備をし、1分でも早く学校に行きたがり、休日も次の日を楽しみにしています。サークル活動、プロジェクト活動でも自分の役割があることで張り切っています。

(6年生保護者)

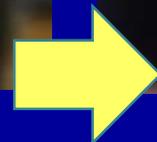
- ・創造活動で学んだことを実生活に役立てられる子どもの姿に驚きです。主体性を培う教育活動に感謝します。

③教師への効果

活動公開を中心とした校内研修



活動案の事前検討



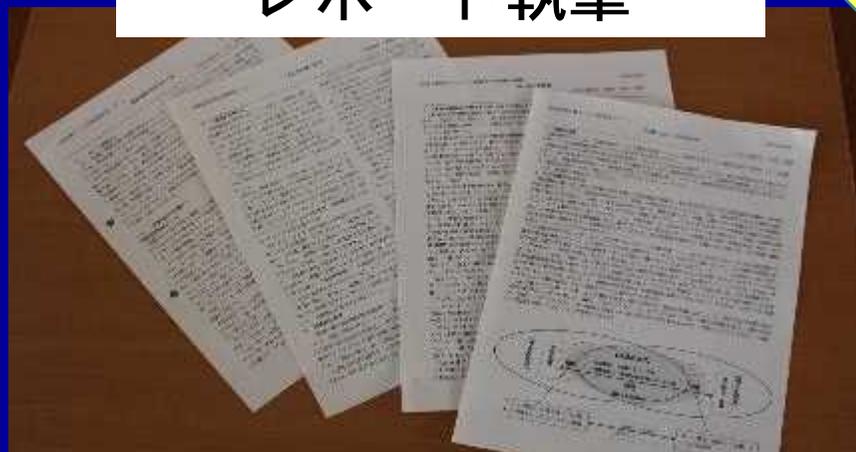
活動公開



レポート執筆



事後検討会



③教師への効果

- 「主体性」「協働性」「創造性」がはたらかせる子どもの姿をより具体的に思い描くようになったこと。
- 活動を構想・展開する上での「しかけ・手立て」の在り方を見いだしたこと。
- 見いだした「しかけ・手立て」を基に、実践や事前・事後検討を積み重ね、改善や評価の視点としていったこと。
- 教師個々の見方・考え方がよりひろがったこと。

④学校訪問者による評価

- ・ 附属小を参観し、教師と子どもの距離の近さを実感しました。授業では、子どもたちが自分たちの力を発揮して伸びていこうという思いを見守る、教師の立ち位置や覚悟を感じました。（静岡県島田市）
- ・ 参観させていただいた授業において、子どもたちが瞳を輝かせてダイナミックに学ぶ姿に、これまでの教育観を揺さぶられました。（福島県福島市）
- ・ 附属小を訪問して学んだ「見失ってはいけない大事なこと」「子どもありき」を、丁寧に当校や市の先生方に伝えていきたいと思えます。（神奈川県相模原市）

今後の課題

「感性」のはたらきに着眼した4つの教育活動における教育課程を、現行学習指導要領における教科・領域の枠組み戻していくことになる。

その中でも、子どもの「感性」を大切にした教育活動の在り方を常に試行錯誤し、活動における子どもの姿や教師の姿から提案していく。



ご静聴ありがとうございました



上越教育大学附属小学校

